

まめの木における支援プログラム（基本方針）

1.健康・生活

支援の方針（R6.4.1） 児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意志の表出が難しい方には、表情や普段と違う様子を確認しつつヶ丘、健康管理を行っていきます。

2.言語・コミュニケーション

家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく絵カード・身振り・手振り・ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションでの相互理解を図ります。

3.感覚・運動

支援プログラムにダンスや音楽療法を取り入れることでリズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援します。

4.認知・行動

ブロック遊びなどを通して、色や形、大きさ、重さなどを無理なく感じ取れるよう促していきます。

5.人間関係・社会性

個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。

総合支援

重度の知的障害・強度行動障害の方には、無理のない程度に、長い期間をかけて日常生活動作など将来必要になってくる行動（トイレ・歯みがきなど）の獲得を促していきます。